



記載が必要な内容	
作成上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>見積書、充放電設備設置工事申告との整合性を審査するのに用います。</li> <li>充放電設備設置工事申告で申告した付帯設備を全て記載してください。また、付帯設備の名称(型式)、寸法、仕様を記載してください。</li> <li>平面図と兼用する場合は、平面図に記載が必要な内容を確認し、該当する内容を全て記載してください。</li> <li>図面は手書き可とします。</li> </ul>
	<p>①図面基本情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設置場所 例) ○○庁舎 V2H充放電設備設置工事 ※設置場所名称が確認できること</li> <li>図面名称 例) 配線ルート図</li> <li>作成者 例) 次世代商事(株) 次世代 二郎</li> <li>縮尺 例) 1/100 ※配線ルート図は1/100以上で作成すること</li> <li>作成日 例) 令和5年4月21日 ※注1) ※本補助事業の申請受付開始日以降であること</li> </ul> <p>②電源元からV2H充放電設備間の電線、配管の種類と長さ、配線ルート、配線方法を明確に記載し、その距離を記載してください。 ※立上げ、立下げがある場合は、その長さも記載してください。 ※埋設の場合は、埋設箇所の路面状況も記載してください。 例) アスファルト、コンクリート、土</p> <p>③キュービクル、分電盤、V2H充放電設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>位置関係がわかる寸法を記載してください。</li> </ul> <p>④建柱(引込柱)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建柱(引込柱)とV2H充放電設備の位置関係がわかる寸法を記載してください。</li> <li>建柱(引込柱)の仕様(材質、高さ)を記載してください。</li> <li>支線を設置する場合は、支線の位置も記載してください。</li> </ul> <p>⑤ハンドホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドホールの設置位置、仕様(材質、たて、よこ、高さ)を記載してください。</li> </ul>

※赤字は記載が必要 黒字は該当工事がある場合に記載が必要。

※注1)  
R4年度「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」で交付決定通知書を受領後、V2H充放電設備の設置を行えなかった申請者が当補助金への申請時に「提出書類の緩和措置を要望」を選択した場合は、申請受付開始日前でも可とします。

CV14-3C 全長	41.4m
内訳 露出	22.4m
管内 金属製 E31	9.0m
金属製 G28	5.0m
合成樹脂 露出 FEP40	1.0m
合成樹脂 埋設 FEP40	4.0m

※上記のように、配線の全長と内訳を記載しておく、オンライン申請システムの工事内容の申告にて入力容易になる項目があります。

①

設置場所	○○庁舎 V2H充放電設備設置工事	図面名称	配線ルート図
作成者	次世代商事(株) 次世代 二郎	縮尺	1/100
		作成日	令和5年4月21日